

Ναζωραῖος

ナゾーライオス

知っておきたいキリスト教のことば (152)

ナザレ人 なざれじん

ナザレは、イスラエル北部地区の中心都市です。現在住んでいる人の多くはアラブ人のキリスト教徒ですが、イスラム教徒やユダヤ教徒も住んでいます。

ベツレヘムで生まれたイエス様は、ガリラヤのナザレで育ちました。イエス様は 30 歳くらいまでこの地で大工として、母や弟妹たちを助けてきたと言われます。

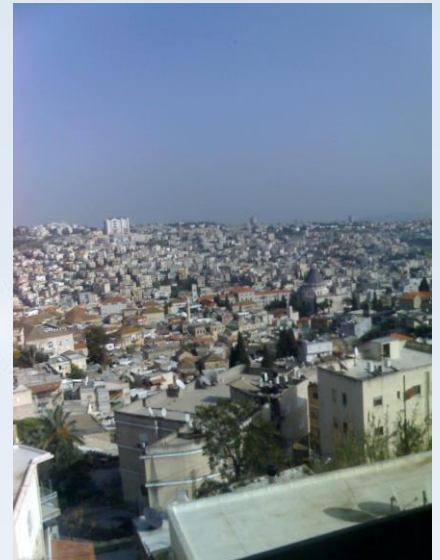
そしてガリラヤで宣教を始めますが、故郷ナザレでは受け入れられなかったとルカ福音書 4:16~30 には記されています。

またヨハネ福音書にはナタナエルの言葉として、「ナザレから何か良いものが出るだろうか」(ヨハネ 1:46)と書かれています。当時は宗教の中心地はエルサレムでした。また緑の深いナザレは、洗礼者ヨハネが宣教した荒れ野とは正反対の場所でした。そのため、ナザレのような場所から預言者などであるものか、と思われていたようです。

しかしイエス様は、使徒言行録 10:38 にあるように、「ナザレのイエス」と呼ばれていました。ナザレという平凡な町で育った救い主だからこそ、わたしたちの喜びや涙に寄り添ってもらえるのです。

キリスト教では、イエス様が公生涯に入るまでの期間を過ごした重要な場所であることから、ベツレヘムやエルサレム同様、ナザレを聖地としていきます。現在ナザレには、聖母マリアが天使ガブリエルから受胎告知を受けたことを記念する「受胎告知教会」をはじめとするたくさんの教会があります。受胎告知教会は、西アジア最大のローマ・カトリック教会の聖堂だそうです。中には「華の聖母子」(長谷川路可)なども飾られています。

次回は「七週祭」です。お楽しみに。



「ナザレ」

Wikipedia より

ナザレという町に行って住んだ。「彼はナザレの人と呼ばれる」と、預言者たちを通して言われていたことが実現するためであった。

(マタイによる福音書 2 章 23 節)

